

20000

慢性完全閉塞病変におけるマルチモダリティを用いた画像支援の試み

【現状報告】近年、デバイスの進歩により心臓血管・下肢動脈共に慢性完全閉塞性病変(CTO)に対するカテーテル治療は積極的に行われるようになってきている。しかし、視認する事の出来ない血管を治療することから術者はワイヤーに伝わってくる感触と解剖学的な血管の走行をイメージし施行しているのが現状であろう。そこで今回当院で行われている CTO に対するマルチイメージングモダリティ(血管造影装置の Peripheral Angiography と CT Angiography による仮想血管の Fusion imaging)における支援法などについて報告する。【使用機器】Philips Brilliance 64MD CT, Philips Extended Brilliance™ Workspace, AZE VirtualPlace Fujin, Philips Allura Xper FD10, PC Power Pointer Ver. 2010

